



みつくら



《 北米産大豆 》

16/17年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほど発表した、16/17年度の世界大豆生産・需給予測によれば、米国が減産となった一方で、ブラジル、アルゼンチン、中国、インドでの増産を反映し、生産量は前年度比2.6%増の3億2,420万トンとなりました。

生産高は増加見通しながら前年度に比べて期初在庫が減少することに加え、需要・輸出共に堅調なことから、期末在庫は前年度比8.1%減の6,821万トンを見込んでいます。

また、同日発表された今年初めての16/17年度の米国大豆生産・需給予測によれば、3月末日発表の作付意向面積8,223万エーカーをベースに、収穫面積は8,140万エーカーと前年を下回ったことに加え、平年単収も前年を下回る形となり、これにより生産量は前年・一昨年を下回る予測となっています。

需要量は、搾油、輸出共に前年を上回る見通しから、期末在庫率は7.8%と需給はひっ迫傾向に向かうと見込まれています。

16/17年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億2,420万t	(対前年比 2.6%増)
消費量	3億2,796万t	(対前年比 3.1%増)
期末在庫量	6,821万t	(対前年比 8.1%減)
期末在庫率	20.8%	(対前年度差 2.5ポイント減)

16/17年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億0,342万t	(対前年比 3.3%減)
消費量	5,553万t	(対前年比 1.5%増)
輸出品	5,130万t	(対前年比 8.3%増)
期末在庫量	829万t	(対前年比 23.9%減)
期末在庫率	7.8%	(対前年度差 2.9ポイント減)



2016年産カナダ産大豆作付面積は1.9%減の予想

カナダ統計局がこのほど発表した、3月現在の2016年産作付意向調査によれば、大豆は1.9%減の530万6,000エーカーと減少見通しとなっています。州別動向では、オンタリオ州で7.8%減の270万エーカー、サスカチュワン州でも9.3%減の25万エーカーと大きな減少を見込んでいます。一方、マニトバ州では10.1%増の150万エーカーと2ケタ増、ケベック州も0.6%増の78万エーカーを見込んでいます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



米国コーンベルトで降雨続く、アルゼンチンでは大豆収穫進む

米農務省の週間天気と作物調査によれば5月上旬から中旬にかけて、米国では東部、西部の一部で継続して、大気が不安定な天候となり、降雨となった。コーンベルトではやっかいな降雨に見舞われ、農地が一部浸水し農作業を遅らせました。ブラジルでは中部を中心に暑く乾燥した天気となり、土壌水分は作物にとって最適となり、成長を促進させました。

アルゼンチンでは広範囲で乾燥した気候となり、過度な土壌水分を軽減させ大豆の収穫が41%と前週の17%から大きく進捗したものの、前年の72%と比べ大幅に遅れています。

《 国産大豆 》

○平成27年産国産大豆入札情報

平成27年産国産大豆の4月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数量8,528トンで、落札数量が6,366トン、落札率が75%という結果となりました。3月と比較すると、平均落札価格は、60kg/121円の値下がりとなりました。

普通大豆の銘柄別では、福岡産フクユタカが1万3,900円台となり、前月比で1,500円近く下がりました。岐阜、愛知産フクユタカも値下がりし1万1,000円前後となりました。ようやく九州フクユタカが値下がりし、落札価格も全体に落ち着いてきている印象です。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
15年11月	1,503 t	1,503 t	100%
12月	3,511 t	3,095 t	88%
16年 1月	8,865 t	7,119 t	80%
2月	8,872 t	6,916 t	78%
3月	8,341 t	6,439 t	77%
4月	8,528 t	6,366 t	75%
合計	39,620 t	31,438 t	79.3%

《 トピックス 》

水稲から大豆へ転換支援、熊本地震で

熊本地震で被災し、水稲作付けが困難になった農業者の所得確保につなげるため、農水省は他作物への転換支援に乗り出しました。なかでもかんがい施設がなくても栽培可能な大豆への転換を有望視しており、東日本大震災の際も生産実績を残しました。交付金の活用などにより、最低でも10アール当たり5万5,000円を得られることから、収入の減少をできるかぎり抑え、早期の経営再建に結びつけたい考えです。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>